



9月 保育室 すまいるだより

2020.8.7 NO.24
保育室 すまいる

年齢別 月の保育のねらい <月のテーマ：友だちとともに>

<0歳児>

- 探索活動を楽しむ。
- 安心できる環境の中で、遊ぶ楽しさを知る。

<2歳児>

- いろいろなことに興味関心を持ち、試そうとする。
- 友だちや保育者と応答し合う楽しさを知る。

<3歳児>

- 友だちと一緒に遊び、楽しさや難しさを経験する。
- 自分の経験や思いを伝える楽しさを知る。

<4歳児>

- イメージを共有しながら共に遊ぶことを喜ぶ。
- 友だちと相談しながら遊びに必要な物を作る。

<5歳児>

- 伸び伸びと身体を動かす中で、友だちとの信頼関係を深める。
- 夏から秋への季節の変化に気づき、興味や関心を持ち、身近に自然に親しむ。

<学童>

- いろいろな場面で体を動かし、体の上手な使い方を知る。

<9月の歌>



おじいちゃんのカメ



<お片付け>

お片付けは、遊びのバロメーターです。遊びが満足できると、お片付けもスキットできます。遊びが中途半端になっていたり、面白くなかったりするとお片付けも力がはいりません。子どもだけでなく、大人も同じような傾向があるのではないかと思います・・・

今年度になってお片付けが上手になって友だちの分も片付けてあげられるようになった Sちゃん、Sくん、Rくんでしたが、新しく入ってきた Kくんや Eちゃん、Yくん片付けの意味が伝わらず、みんなが片付けたすぐ後から、おもちゃが入っているかごをひっくり返したり、上手に重ねた積み木をぐちゃぐちゃに崩されてしまうことが重なって、ちょっと萎えてしまっていました。

「お昼ご飯を食べるおともだちは、お片付けしてください。」この声掛けで、片付けをすることにしました。この声掛けをどのように捉えますか？お昼を食べない友だちは、片付けなくてよいということです。

「自分の出した分だけ片付けた」「それでよし...と思うのだったら畳のところで座って、みんなの片付けが終わるまで待っていてね。」自分が出したところの片づけが終わった子から順に小上がりにすわり始めました。「待つのが疲れるなー」とつぶやく Tくん。「待つのが嫌な時には、どうしたらいいと思う？」「お友だちのお片付けを手伝う」「ぼくは、待ってる方がいいから待つ」「Tくん、待つのが嫌な時は、お片付けを手伝えばいいんだって」「じゃーいいや」と待つことに、自分で決めたことです。責任があります。でも、お片付けができない子どもたちが遊び始めています。「もう、早くしてよ...」という声、「お片付けできていないお友だちにお昼ご飯、たべるの？ってきいてみたら？」と伝えると「言っても返事してくれない。」「そうか、それでは、片付け終わった人から食べる準備をしようか！！」「よっしゃー」と食事の準備を始めたメンバー、その一方片付けができないでいるメンバーは、周りが昼食の準備を始めたので、慌ててお片付けを始め、みんなが食べ始める前には、片付けが終わりました。昼食を食べるご挨拶をする前に、ずっと待っていてくれた友だちに、「ずっと待たせてしまってごめんなさい」と伝えた後、食べることになりました。

なぜ片づけをしなればいけないのか？片付けの必要性を考えながら片づけをしていきたいと思います。